

リン化アルミニウムくん蒸剤

*Fumitoxin*<sup>®</sup>

フミトキシン



輸入・発売元 国際衛生株式会社



## 2 使用者及び用途

本剤は、毒物及び劇物取締法で特定毒物に指定されており、同法施行令第28条により定められた者及び用途以外には使用できません。

使　用　者	用　途
国、地方公共団体、農業協同組合、日本たばこ産業株式会社	倉庫内、コンテナ内又は船倉内における、ねずみ、昆虫等の駆除
次に掲げる者であって、都道府県知事の指定を受けたもの ・くん蒸により倉庫内若しくはコンテナ内のねずみ、昆虫等を駆除することを業とする者 ・営業のために倉庫を有する者	倉庫内、コンテナ内における、ねずみ、昆虫等の駆除
・船長（船長の職務を行なう者を含む） ・くん蒸により船倉内のねずみ、昆虫等を駆除することを業とする者	船倉内における、ねずみ、昆虫等の駆除

\*コンテナ

工業標準化法(昭和24年法律第185号)に基づく日本工業規格Z1610号(大形コンテナ)に適合するコンテナ又はこれと同等以上の内容積を有する密閉型コンテナに限る。

## 3 効　型

	寸法(mm)	形状写真	重　さ	発生するリン化水素	備　考
第16033号 フミトキシン (タブレット)	直径 16 厚さ 14		3g	1g	ガス発生終了までの所要時間は温度、湿度によって異なる (タブレット): 48~72時間 (ペレット): 12~48時間
第16034号 フミトキシン 小球 (ペレット)	直径 9 厚さ 5		0.6g	0.2g	

## 4 リン化水素発生プロセス

開缶後、反応①により、カルバミン酸アンモニウムが分解してアンモニアと二酸化炭素が発生します。

②の反応により、リン化アルミニウムは、空気中の水分と反応して、徐々にリン化水素を発生します。

①の反応は、吸熱反応であり、発熱反応である②の反応を調節するとともに、アンモニアと二酸化炭素は、リン化水素を希釈してその自然発火を防ぐ働きをします。また、アンモニアはリン化水素発生を知らせる警戒臭となります。

本剤使用後は、水酸化アルミニウムと微量のパラフィンが残ります。



	リン化アルミニウム(AIP)	リン化水素(PH <sub>3</sub> )
分子量 形状、色、臭い 発火点 爆発性	58 淡黄灰色の固体 — —	34 無色、腐魚臭の气体 発火点 28~149°C (大気中) 下限 1.32 vol%

## 5 リン化水素の特性

- (1) 細胞内のエネルギー代謝を阻害することにより広範な殺虫作用を有しています。
- (2) 拡散性が非常に高いため密閉した空間でも直ちに空気と混合し、あらゆる方向に広がり、穀物内にも浸透します。その結果、すべてのステージ（卵、幼虫、蛹、成虫）に有効な殺虫効果があります。
- (3) リン化水素は特定の金属（銅、銅合金類、金、銀）と反応し、特に高温、高湿では腐食を起こし易いため、銅、真鍮などが多く使用されている電灯や電気・電子機器や電気設備等や、金、銀を使った貴金属品等が腐食しないよう注意してください。
- (4) リン化水素は腐魚臭（にんにく臭）を有しており、ガスの存在が容易に判り、事故を未然に防ぎます。
- (5) ヒトにも有害ですので、「保管上及び安全使用上の注意」をよく読んで、安全に使用してください。

## 6 保管上及び安全使用上の注意

### 6-1 保管上の注意

- (1) 直射日光を避け、なるべく乾燥した涼しい風通しの良い場所に、鍵をかけ密封して保管してください。
- (2) 開缶または開封した薬剤は、貯蔵しないでください。
- (3) 本剤を30kg以上貯蔵する際は、消防署に届け出してください。
- (4) 盗難、紛失の際は、警察に届け出してください。

### 6-2 安全使用上の注意

- (1) ラベルをよく読み、使用方法を遵守してください。
- (2) 特定毒物ですので取扱いには特に注意してください。
- (3) 発生ガスは有毒であるので吸い込まないように注意してください。
- (4) 缶のフタは必ず屋外で開けてください。又、顔に向けて開けないでください。
- (5) 本剤を被くん蒸物全体に出来るだけ均等になるように配置してください。また高分子シートを用いる投薬法、吸水性紙材を用いる投薬法、庫外投薬機で投薬する場合には、それぞれの使用方法を厳守し、取り扱いには十分注意してください。
- (6) **くん蒸作業中及びくん蒸後の粉末の処理作業中は、リン化水素用隔離式全面防毒マスクを使用してください。**
- (7) 作業中は乾いている手袋、長ズボン、長袖の作業着などを着用し、作業終了後は手や顔を石鹼でよく洗ってください。
- (8) 倉庫内の投薬作業は、2時間以内で終わるようにしてください。高分子シートを用いる投薬法、吸水性紙材を用いる投薬法で投薬する場合には、投薬直後からガスが発生するので、速やかに投薬作業を終わるようにしてください。
- (9) **くん蒸中及び開放中は、扉に「ガスくん蒸中につき立入禁止」の警告文を掲示してください。**
- (10) 本剤は水や他の液体と接触させないでください。
- (11) 本剤は所定量を用いてくん蒸し、本剤を碎いて使用しないでください。又、作業中は火気を近づけず、喫煙、飲食はしないでください。
- (12) 所定のくん蒸時間経過後、扉、窓等を全開して放置し、ガス濃度が十分低下したことを確認してから入室してください。
- (13) 開缶した薬剤はその都度使い切り、作業終了後、薬剤が缶内に残存していないことを確かめてください。
- (14) 発生したガスは銅、銅合金、銀、金などの金属と反応し腐食させることがあります。
- (15) 空缶はどのような目的にも使用しないでください。

### 6-3 残渣処理

使用後の残渣は発火する恐れがあるので、次のことを厳守してください。

- (1) 残渣は、保管せず直ちに安全に処理してください。
- (2) 残渣を処理する場合は、洗剤を添加した大量の水の中に少量ずつ混ぜ込み、安全に分解させてください。  
なお、集めた残渣に一気に水をかけることは絶対にしないでください。
- (3) 処理中はリン化水素用隔離式全面防毒マスクを着用してください。

### 6-4 治療法

- (1) 中毒の場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- (2) 中毒性には次の処置が有効です。
  - ① 強心剤、血行促進剤の注射。（必要に応じて酸素吸入装置による治療も行う。）
  - ② 重症の場合は、輸血、生理的食塩水又は生理的ブドウ糖液の注射。
  - ③ 肺浮腫の場合は、生理的濃度より濃いブドウ糖液の注射。

※本品を取扱う前に「安全データシート」を必ずお読み下さい。

輸入・発売元 国際衛生株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目14番7号  
電話 03-3667-6711(代)

製造場：中華人民共和国 濬陽豊収農業有限公司